

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
社会的養護 I	1	前期	講義	2	青野 孝洋
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷、現状と課題について理解する。</p> <p>2. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。</p> <p>3. 社会的養護の対象や形態、関係する施設の概要や専門職等について理解する。</p>					
<p>○授業の概要</p> <p>社会的養護の基本、意義と歴史の変遷、制度や実施体系を学び、資料や視聴覚教材から社会的養護の対象や 形態、施設、そこで働く専門職について理解を深める。さらに、社会的養護の現状と課題について理解する。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：社会的養護の基本的理念と原理</p> <p>【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認するとともに、テキストを読み「社会的養護」の概要をイメージしておく。</p> <p>【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。</p> <p>第2回：社会的養護の歴史の変遷</p> <p>【事前学修】戦後の日本の子ども達の問題について調べておく。</p> <p>【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。</p> <p>第3回：子どもの権利と社会的養護</p> <p>【事前学修】テキスト読み、「子どもの権利」とはどのようなものかイメージしておく。</p> <p>【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。</p> <p>第4回：社会的養護の基本原則</p> <p>【事前学修】テキストを読み「子ども達が発達していく中でどのようなことが、保証されるべきなのか」イメージしておく。</p> <p>【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。</p> <p>第5回：社会的養護における保育士等の倫理と責務</p> <p>【事前学修】「全国保育士会倫理綱領」に目を通しておく。</p> <p>【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。</p> <p>第6回：社会的養護に関する法律や制度</p> <p>【事前学修】児童福祉法について簡単に調べておく。</p> <p>【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。</p>					

第7回：社会的養護の仕組みと実施体系

【事前学修】テキストを読み、子どもが児童養護施設に措置されるまでの流れを調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第8回：社会的養護とソーシャルワーク

【事前学修】テキストを読み、「ソーシャルワーク」という言葉を調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第9回：社会的養護の対象と支援

【事前学修】テキストを読み、社会的養護の対象となる子ども達についてイメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第10回：家庭養護と施設養護

【事前学修】テキストを読み、「家庭養護」「施設養護」それぞれのイメージをしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第11回：社会的養護にかかわる専門職

【事前学修】テキストを読み、子どもと関わる専門職についてイメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第12回：社会的養護に関する状況

【事前学修】テキストを読み、「虐待」「貧困」などに関わる子ども達の現状について簡単に調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第13回：施設等の運営管理の現状と課題

【事前学修】テキストを読み、興味のある児童福祉施設の職員の資格について調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第14回：被措置児童等の虐待防止の現状と課題

【事前学修】テキストを読み、「虐待にはどのようなものがあるのか」イメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第15回：社会的養護と地域福祉の現状と課題

【事前学修】テキストを読み、自分の住んでいる地域の児童福祉施設にどのようなものがあるか調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

○テキスト

「図解で学ぶ保育 社会的養護Ⅰ」 原田旬哉・杉山宗尚 編著 萌文書林

○参考書・参考資料等

必要に応じて配布する

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省 フレーベル館

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省 フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・厚生労働省・文部科学省 フレーベル館

○学生に対する評価

試験50% 提出物25% 授業への意欲・態度25%